



2024年3月期 第1四半期決算短信(米国基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社
コード番号 4901 URL <https://holdings.fujifilm.com/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 後藤 禎一
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 吉澤 ちさと
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-6271-1111

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	660,759	5.6	52,217	5.4	69,297	25.5	54,412	31.5
2023年3月期第1四半期	625,860	7.4	49,550	12.0	55,195	29.0	41,364	27.8

(注) 四半期包括利益 2024年3月期第1四半期 194,721百万円 (25.4%) 2023年3月期第1四半期 155,270百万円 (140.9%)

	基本的1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	135.66	135.47
2023年3月期第1四半期	103.21	103.02

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,374,589	2,908,407	2,905,004	66.4
2023年3月期	4,134,311	2,787,860	2,763,145	66.8

(注) 資本合計(純資産)は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	70.00	130.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		70.00	—	80.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 70円00銭 創立90周年記念配当 10円00銭

3. 2024年 3月期の連結業績予想(2023年 4月 1日～2024年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に 帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,950,000	3.2	290,000	6.2	295,000	4.5	225,000	2.5	560.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年6月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用してあります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

: 有
- 以外の会計方針の変更

: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	414,625,728 株	2023年3月期	414,625,728 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	13,521,586 株	2023年3月期	13,528,181 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	400,838,805 株	2023年3月期1Q	400,646,969 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
	(1) 経営成績に関する説明	P. 2
	(2) 財政状態に関する説明	P. 4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
	(3) 会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 6
4.	四半期連結財務諸表	P. 7
	(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
	(四半期連結損益計算書)	P. 9
	(四半期連結包括利益計算書)	P. 10
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
	(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
	(セグメント情報)	P. 12
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2024年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		増減額	増減率
国内売上高	36.2%	2,391	35.8%	2,240	151	6.7%
海外売上高	63.8%	4,217	64.2%	4,019	198	4.9%
売上高	100.0%	6,608	100.0%	6,259	349	5.6%
営業利益	7.9%	522	7.9%	496	26	5.4%
税金等調整前四半期純利益	10.5%	693	8.8%	552	141	25.5%
当社株主帰属四半期純利益	8.2%	544	6.6%	414	130	31.5%
為替レート（円／米\$）	138 円		130 円		8 円	
為替レート（円／Euro）	150 円		138 円		12 円	

当社グループの2024年3月期第1四半期における連結売上高は、メディカルシステム、バイオ CDMO、イメージング等を中心に売上を伸ばし、6,608 億円（前年同期比 5.6%増）となりました。

営業利益は 522 億円（前年同期比 5.4%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券評価益の増加等により 693 億円（前年同期比 25.5%増）、当社株主帰属四半期純利益は 544 億円（前年同期比 31.5%増）となりました。当四半期の円為替レートは、対米ドルで 138 円、対ユーロで 150 円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2024年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減額	増減率
ヘルスケア	2,068	1,828	240	13.1%
マテリアルズ	1,546	1,724	△178	△10.4%
ビジネスイノベーション	1,942	1,882	60	3.2%
イメージング	1,052	825	227	27.6%
連結合計	6,608	6,259	349	5.6%

【事業セグメント別の営業利益】

(単位：億円)

セグメント	2024年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減額	増減率
ヘルスケア	103	113	△10	△9.1%
マテリアルズ	93	223	△130	△58.1%
ビジネスイノベーション	169	142	27	18.7%
イメージング	233	105	128	121.1%
全社費用及び セグメント間取引消去	△76	△87	11	—
連結合計	522	496	26	5.4%

※産業機材事業に含まれていた非破壊検査用機器・材料を当連結会計年度よりマテリアルズセグメントからヘルスケアセグメントへ変更しております。前年同期についても、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

「ヘルスケア部門」

ヘルスケア部門の連結売上高は、2,068 億円（前年同期比 13.1%増）となりました。

当部門の営業利益は、103 億円（前年同期比 9.1%減）となりました。

メディカルシステム事業では、内視鏡、医療 IT 等の分野で販売が好調に推移したことにより、売上が増加しました。X 線画像診断分野では、東南アジアを中心に超軽量移動型デジタル X 線撮影装置「FDR nano」の販売が伸長したことに加え、国内での販売が好調に推移し、売上が増加しました。医療 IT 分野では、医用画像情報システム（PACS）「SYNAPSE」や 3D 画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」を中心としたシステム・サービス販売が米国・欧州・中国等の海外市場を中心に伸長し、売上が増加しました。超音波診断分野では、据置型超音波診断装置の新製品「ARIETTA 850DI」「ARIETTA 650DI」の販売が日本を中心に伸長し、売上が堅調に推移しました。内視鏡分野では、粘膜の僅かな色の違いを強調し、内視鏡観察をサポートする LCI（Linked Color Imaging）をはじめとする画像強調機能を搭載した「7000 システム」等の販売が日本・欧州・中国を中心に伸長し、売上が大幅に増加しました。体外診断（IVD）分野では、血液生化学検査「富士ドライケム」機器・スライドの販売は堅調に推移したものの、COVID-19 関連の検査試薬の需要低下を受けて、売上が減少しました。CT・MRI 画像診断分野では、中南米や中東での CT 販売が伸長したことに加え、国内では半導体等部品不足の解消に伴い MRI の販売が順調に進捗し、売上が増加しました。

バイオ CDMO 事業では、バイオ医薬品の製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移したこと等により、売上が増加しました。2023 年 6 月には、日本・アジア市場におけるバイオ医薬品の開発・製造受託ビジネスを拡大するため、「富士フイルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ・ジャパン株式会社」を設立しました。今後、当社は日本・アジア・欧州・米国でグローバルかつ統一的なオペレーションを展開することで、事業の成長を一段と加速していきます。

ライフサイエンス事業では、培地の販売伸長や、細胞創薬支援が堅調に推移したことで売上が増加しました。培地のグローバル市場は、抗体医薬品の需要増や、細胞治療・遺伝子治療といった先端医療の発展に伴い成長が続いています。当社は米国・欧州・日本のグローバル生産体制で、バイオ医薬品の研究開発・製造を強力にサポートしていきます。

医薬品事業では、抗菌剤の需要回復や、COVID-19 に対する国産ワクチンの治験薬受託製造が寄与し、売上が増加しました。

コンシューマーヘルスケア事業では、化粧品の新製品「ASTALIFT THE SERUM BRIGHTENING（アスタリフト ザ セラム ブライトニング）」が販売を伸ばしましたが、サプリメントの販売減少等により、事業全体では売上が減少しました。2023 年 6 月には、化粧水「ASTALIFT ADVANCED LOTION（アスタリフト アドバンスドローション）」とクリーム「ASTALIFT ADVANCED CREAM（アスタリフト アドバンスドクリーム）」の発売を発表しました。今後も顧客のニーズを捉えた独自性の高い製品を提供し、人々の美容と健康に貢献していきます。

「マテリアルズ部門」

マテリアルズ部門の連結売上高は 1,546 億円（前年同期比 10.4%減）となりました。

当部門の営業利益は、93 億円（前年同期比 58.1%減）となりました。

電子材料事業では、半導体市場の市況軟化の影響を受けて売上が減少しました。2023 年 5 月には、米国 Entegris 社の半導体用プロセスケミカル事業の買収を発表しました。本買収により、製品ラインアップ拡充による顧客提案力強化を通じて新規ビジネスの更なる拡大を図っていきます。また、今後の半導体市場拡大を見据えて、2023 年 4 月には欧州における半導体材料工場の製造設備増強、2023 年 5 月には台湾における最先端半導体材料工場の新設を発表しました。積極的な設備投資を継続し、高品質材料の安定生産や強固なグローバル製造体制を構築していきます。

ディスプレイ材料事業では、COVID-19 流行下での特需の反動によるサプライチェーン全体での生産調整の影響が継続しており、売上が減少しました。

産業機材事業では、大手 IT 企業によるデータセンター建設への投資抑制を受けたデータアーカイブ用のテープ需要停滞や、業務用 PC の需要低迷の影響を受けたタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売減少等により、売上が減少しました。

ファインケミカル事業では、重合材料等の欧州での需要低迷の影響を受け、化成品販売が減少したことにより、売上が減少しました。

グラフィックコミュニケーション事業では、刷版材料分野において日本・欧米を中心とした印刷物需要減の影響等により、売上が減少しました。デジタル印刷分野においては、2023 年 4 月に、新たに米国・英

国・フランス・カナダにおいて当社デジタル印刷機（Print On Demand）の販売を開始したことに加えて、日本及びアジアパシフィック市場向けの、カラー中高速クラスのプロダクションカラープリンター「Revoria Press EC1100」及び「Revoria Press SC180 / SC170」の販売を開始する等、更なる事業拡大を図っています。

インクジェット事業では、セラミック市場向けインクジェットヘッドの販売が、欧州・中国市場の需要低迷の影響を受け減少したこと等により、売上が減少しました。

「ビジネスイノベーション部門」

ビジネスイノベーション部門の連結売上高は、1,942 億円（前年同期比 3.2%増）となりました。

当部門の営業利益は、169 億円（前年同期比 18.7%増）となりました。

オフィスソリューション事業では、新規 OEM の拡大、ワールドワイドでの価格改定等があるも、欧米向け輸出が減少したこと等により、売上が減少しました。

ビジネスソリューション事業では、自治体向け売上が国内で増加したことや、2022 年度に買収した豪州 MicroChannel Services 社が寄与したこと等により、売上が増加しました。2023 年 6 月には、国内で自治体による罹災証明書交付の迅速化に向けて「被害調査統合システム」と「家屋被害判定アプリ」の提供を開始しました。また、お客様の DX 活動を通じた成功体験 CHX（カスタマー・ハッピー・エクスペリエンス）を実現するソリューション・サービスとして、IT 資産の可視化や運用／管理から環境改善支援まで、お客様のニーズに合わせてワンストップで提供する IT サポートサービス「IT Expert Services」を発表しました。今後も当社はお客様の IT 環境をより深く理解し、最新のセキュリティー対策や新たな IT の活用による DX の推進等を通じて、お客様に求められるサービスを提供することで、ビジネスソリューション事業の成長を加速していきます。

「イメージング部門」

イメージング部門の連結売上高は、1,052 億円（前年同期比 27.6%増）となりました。

当部門の営業利益は、233 億円（前年同期比 121.1%増）となりました。

コンシューマーイメージング分野では、インスタントフォトシステム、カラーペーパー・ドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、売上が増加しました。2023 年 6 月には、スクエアフォーマットに対応した「INSTAX SQUARE SQ40」を発売しました。当社は、今後も INSTAX “チェキ”を通じてアナログとデジタルの技術を掛け合わせ、世界中の人々に「新たな価値」を提供していきます。

プロフェッショナルイメージング分野では、デジタルカメラ「X シリーズ」にて、前年度に発売した「X-H2」「X-H2S」「X-T5」を中心に販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。2023 年 6 月には、小型軽量ボディに大容量バッテリー・高性能 AF・動画撮影機能を搭載したオールインワンモデル「X-S20」を発売しました。今後も、「GFX シリーズ」ではラージフォーマットによる圧倒的高画質を、「X シリーズ」では画質とサイズのベストバランスを実現し、魅力的な製品を提供していきます。また、2023 年 4 月には、世界最望遠 1600mm※・光学 40 倍ズームを実現し、監視や点検等の幅広い用途で活用可能なレンズ一体型超遠望カメラ「FUJIFILM SX1600」を発売しました。当社は幅広いレンズ製品の開発で培った独自の光学技術と最先端の画像処理技術を駆使し、今後もお客様や市場のニーズに応える画期的な製品の開発に取り組んでいきます。※ レンズ一体型遠望カメラとして。2023 年 4 月 6 日現在。当社調べ。

(2) 財政状態に関する説明

2024 年 3 月期第 1 四半期末は、棚卸資産、有形固定資産の増加等により、前期末（2023 年 3 月 31 日）に比べ、資産が 2,403 億円増の 4 兆 3,746 億円となりました。負債は 1,198 億円増の 1 兆 4,662 億円となりました。株主資本は 1,419 億円増の 2 兆 9,050 億円となりました。流動比率は前期末に比べ 13.7 ポイント減の 169.5%、負債比率は 1.8 ポイント増の 50.5%、株主資本比率は 0.4 ポイント減の 66.4%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	2024年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	747	147	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△985	△820	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133	972	△1,105

2024年3月期第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少等により、747億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入等により、985億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、△238億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、133億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の2024年3月期第1四半期末残高は、前期末(2023年3月31日)に比べ186億円減少し、2,500億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2024年3月期の連結業績予想)

(単位：億円)

	2024年3月期 (業績予想)	2023年3月期 (実績)	増減率・増減額
売上高	29,500	28,590	3.2%
営業利益	2,900	2,731	6.2%
税金等調整前当期純利益	2,950	2,822	4.5%
当社株主帰属当期純利益	2,250	2,194	2.5%
ROE (%)	8.0	8.3	△0.3ポイント
ROIC (%)	5.9	6.1	△0.2ポイント
為替レート (円/米\$)	136 円	136 円	-
為替レート (円/Euro)	146 円	141 円	5 円

2024年3月期業績は、「ヘルスケア・高機能材料」を中心とした事業成長、各事業における収益性の向上等により、連結売上高は2兆9,500億円(前期比3.2%増)、営業利益は2,900億円(前期比6.2%増)、税金等調整前当期純利益は2,950億円(前期比4.5%増)、当社株主帰属当期純利益は2,250億円(前期比2.5%増)を予想しております。

通期での対米ドル円為替レートを136円、対ユーロ円為替レートを146円で想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

2016年6月に、米国財務会計基準審議会は、会計基準アップデート2016-13「金融商品－信用損失：金融商品の信用損失の測定」を発行しました。会計基準アップデート2016-13は、金融資産について、現行の発生損失モデルではなく予想信用損失モデルに基づいて損失を認識することを要求しております。予想信用損失モデルでは、回収が予想されない契約キャッシュ・フローの見積りを引当金として認識することになります。当基準は、2022年12月15日より後に始まる連結会計年度(期中会計期間を含む)から適用され、早期適用が認められております。当社においては、2023年4月1日から始まる連結会計年度から、会計基準アップデート2016-13を適用初年度の期首に累積的影響額を調整する方法により適用しております。会計基準アップデート2016-13の適用が当社の経営成績及び財政状態に与える重要な影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

富士フイルムホールディングス(株)2024年3月期第1四半期決算短信

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	2024年3月期第1四半期 連結会計期間末 2023年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2023年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		250,028	268,608	△ 18,580
受取債権				
営業債権		588,506	608,645	△ 20,139
リース債権		41,052	40,038	1,014
関連会社等に対する債権		1,857	2,561	△ 704
貸倒引当金		-	△ 18,193	18,193
信用損失引当金		△ 19,777	-	△ 19,777
		611,638	633,051	△ 21,413
棚卸資産		630,308	567,302	63,006
前払費用及びその他の流動資産		191,724	162,146	29,578
流動資産 合計		1,683,698	1,631,107	52,591
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		41,610	42,921	△ 1,311
投資有価証券		78,762	70,745	8,017
長期リース債権		57,130	55,487	1,643
その他の長期債権		22,873	22,103	770
貸倒引当金		-	△ 2,351	2,351
信用損失引当金		△ 2,140	-	△ 2,140
投資及び長期債権 合計		198,235	188,905	9,330
有形固定資産				
土地		113,040	105,923	7,117
建物及び構築物		800,823	770,926	29,897
機械装置及びその他の有形固定資産		1,544,133	1,505,008	39,125
建設仮勘定		429,474	345,253	84,221
		2,887,470	2,727,110	160,360
減価償却累計額		△ 1,792,595	△ 1,750,999	△ 41,596
有形固定資産 合計		1,094,875	976,111	118,764
その他の資産				
オペレーティング・リース使用权資産		92,697	82,276	10,421
営業権		888,840	858,311	30,529
その他の無形固定資産		146,694	144,258	2,436
その他		269,550	253,343	16,207
その他の資産 合計		1,397,781	1,338,188	59,593
資産 合計		4,374,589	4,134,311	240,278

富士フィルムホールディングス(株)2024年3月期第1四半期決算短信

単位 百万円

科目	期別 2024年3月期第1四半期 連結会計期間末 2023年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2023年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]			
流動負債			
社債及び短期借入金	196,622	106,093	90,529
支払債務			
営業債務	252,132	246,093	6,039
設備関係債務	71,432	72,713	△ 1,281
関連会社等に対する債務	1,581	1,603	△ 22
	325,145	320,409	4,736
未払法人税等	32,713	39,214	△ 6,501
未払費用	255,382	234,809	20,573
短期オペレーティング・リース負債	34,392	31,031	3,361
その他の流動負債	149,224	158,766	△ 9,542
流動負債 合計	993,478	890,322	103,156
固定負債			
社債及び長期借入金	267,752	270,060	△ 2,308
退職給付引当金	21,056	21,909	△ 853
長期オペレーティング・リース負債	62,274	55,400	6,874
その他の固定負債	121,622	108,760	12,862
固定負債 合計	472,704	456,129	16,575
負債 合計	1,466,182	1,346,451	119,731
[純資産の部]			
株主資本			
資本金	40,363	40,363	-
普通株式			
発行可能株式総数 800,000,000株			
発行済株式総数 414,625,728株			
利益剰余金	2,612,683	2,616,191	△ 3,508
その他の包括利益累積額	309,162	163,820	145,342
自己株式	△ 57,204	△ 57,229	25
株主資本 合計	2,905,004	2,763,145	141,859
非支配持分	3,403	24,715	△ 21,312
純資産 合計	2,908,407	2,787,860	120,547
負債・純資産 合計	4,374,589	4,134,311	240,278

(注)その他の包括利益累積額 内訳

	2023年6月30日現在	2023年3月31日現在	増減 (△は減少)
為替換算調整額	378,527	232,893	145,634
年金負債調整額	△ 69,664	△ 69,193	△ 471
デリバティブ未実現損益	299	120	179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第1四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	2024年3月期第1四半期		2023年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日		自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日		増減額	増減率
		%		%			%
売上高		100.0	660,759	100.0	625,860	34,899	5.6
売上原価		60.2	397,585	59.3	371,411	26,174	7.0
売上総利益		39.8	263,174	40.7	254,449	8,725	3.4
営業費用							
販売費及び一般管理費		26.1	172,319	26.8	167,326	4,993	3.0
研究開発費		5.8	38,638	6.0	37,573	1,065	2.8
		31.9	210,957	32.8	204,899	6,058	3.0
営業利益		7.9	52,217	7.9	49,550	2,667	5.4
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			3,691		2,079	1,612	
支払利息			△ 2,157		△ 870	△ 1,287	
為替差損益・純額			2,229		3,271	△ 1,042	
持分証券に関する損益・純額			11,212		△ 759	11,971	
その他損益・純額			2,105		1,924	181	
		2.6	17,080	0.9	5,645	11,435	202.6
税金等調整前当期純利益		10.5	69,297	8.8	55,195	14,102	25.5
法人税等		2.5	16,639	2.5	15,714	925	5.9
持分法による投資損益		0.1	717	0.3	1,876	△ 1,159	△ 61.8
四半期純利益		8.1	53,375	6.6	41,357	12,018	29.1
控除: 非支配持分帰属損益		0.1	1,037	0.0	7	1,030	14,714.3
当社株主帰属四半期純利益		8.2	54,412	6.6	41,364	13,048	31.5

(四半期連結包括利益計算書)

単位 百万円

科目	期別	2024年3月期第1四半期	2023年3月期第1四半期	増減
		自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日	自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日	(△は減少)
四半期純利益		53,375	41,357	12,018
その他の包括利益 ー税効果調整後				
有価証券未実現損益		—	40	△ 40
為替換算調整額		141,145	113,403	27,742
年金負債調整額		22	450	△ 428
デリバティブ未実現損益		179	20	159
合計		141,346	113,913	27,433
四半期包括利益		194,721	155,270	39,451
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		5,033	△ 1,770	6,803
当社株主帰属四半期包括利益		199,754	153,500	46,254

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	2024年3月期第1四半期	2023年3月期第1四半期	増減 (△は減少)
		自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日	自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		53,375	41,357	12,018
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		35,954	35,072	882
(2) 持分証券に関する損益		△ 11,212	759	△ 11,971
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		△ 399	△ 1,753	1,354
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		43,304	23,277	20,027
棚卸資産の増加(△)		△ 39,293	△ 62,473	23,180
営業債務の減少(△)		△ 860	△ 5,114	4,254
前払費用及びその他の流動資産の増加(△)		△ 12,837	△ 10,868	△ 1,969
未払法人税等及びその他負債の増加・減少(△)		7,155	△ 1,080	8,235
(5) その他		△ 516	△ 4,450	3,934
小計		21,296	△ 26,630	47,926
営業活動によるキャッシュ・フロー		74,671	14,727	59,944
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 93,387	△ 51,969	△ 41,418
2. ソフトウェアの購入		△ 7,955	△ 11,280	3,325
3. 投資有価証券の売却及び満期償還		3,590	3,752	△ 162
4. 投資有価証券の購入		△ 7	△ 3	△ 4
5. 定期預金の増加(純額)		△ 1,904	△ 1,895	△ 9
6. 事業の買収		-	△ 14,812	14,812
(買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)				
7. その他		1,118	△ 5,824	6,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 98,545	△ 82,031	△ 16,514
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		-	120,000	△ 120,000
2. 長期債務の返済額		△ 4,990	△ 892	△ 4,098
3. 満期日が3ヵ月以内の短期債務の増加・減少(△)(純額)		90,211	1,376	88,835
4. 親会社による配当金支払額		△ 28,077	△ 22,044	△ 6,033
5. 非支配持分への配当金支払額		△ 12,334	-	△ 12,334
6. 自己株式の取得及び売却		△ 7	△ 4	△ 3
7. 非支配持分との資本取引その他		△ 58,144	△ 1,205	△ 56,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 13,341	97,231	△ 110,572
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		18,635	21,797	△ 3,162
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		△ 18,580	51,724	△ 70,304
VI. 現金及び現金同等物期首残高		268,608	486,328	△ 217,720
VII. 現金及び現金同等物期末残高		250,028	538,052	△ 288,024

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2024年3月期第1四半期		2023年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月 30日		自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月 30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
ヘルスケア :							
外部顧客に対するもの		31.3	206,829	29.3	182,850	23,979	13.1
セグメント間取引			4		7	△ 3	-
計			206,833		182,857	23,976	13.1
マテリアルズ :							
外部顧客に対するもの		23.4	154,460	27.5	172,318	△ 17,858	△ 10.4
セグメント間取引			240		350	△ 110	-
計			154,700		172,668	△ 17,968	△ 10.4
ビジネスイノベーション :							
外部顧客に対するもの		29.4	194,240	30.0	188,233	6,007	3.2
セグメント間取引			1,763		2,372	△ 609	-
計			196,003		190,605	5,398	2.8
イメージング :							
外部顧客に対するもの		15.9	105,230	13.2	82,459	22,771	27.6
セグメント間取引			351		899	△ 548	-
計			105,581		83,358	22,223	26.7
セグメント間取引消去			△ 2,358		△ 3,628	1,270	-
連結 合計		100.0	660,759	100.0	625,860	34,899	5.6

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2024年3月期第1四半期		2023年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月 30日		自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月 30日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
ヘルスケア		5.0	10,323	6.2	11,362	△ 1,039	△ 9.1
マテリアルズ		6.0	9,347	12.9	22,299	△ 12,952	△ 58.1
ビジネスイノベーション		8.6	16,856	7.4	14,200	2,656	18.7
イメージング		22.1	23,308	12.6	10,542	12,766	121.1
計			59,834		58,403	1,431	2.5
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 7,617		△ 8,853	1,236	-
連結 合計		7.9	52,217	7.9	49,550	2,667	5.4

(注)各区分に属する主要な製品の名称

ヘルスケア :

メディカルシステム機材、バイオ医薬品製造開発受託、
細胞・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品・サプリメント等

マテリアルズ :

電子材料、ディスプレイ材料、産業機材、ファインケミカル、
グラフィックコミュニケーションシステム機材、インクジェット機材等

ビジネスイノベーション :

デジタル複合機、ソリューション・サービス等

イメージング :

インスタントフォトシステム、カラーフィルム、
写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、デジタルカメラ、光学デバイス等

②所在地別セグメント情報

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2024年3月期第1四半期		2023年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日		自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
国内		36.2	239,040	35.8	223,947	15,093	6.7
海外：							
米州		22.2	146,518	21.4	133,662	12,856	9.6
欧州		13.6	89,926	15.1	94,237	△ 4,311	△ 4.6
アジア及びその他		28.0	185,275	27.7	174,014	11,261	6.5
計		63.8	421,719	64.2	401,913	19,806	4.9
連結 合計		100.0	660,759	100.0	625,860	34,899	5.6

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。